

2024.5.15

ギカイ の ひろば

◆CONTENTS

6年度予算

期待に応える予算か!
議員はここに注目した!

▶P8~P9

▶P10~P11

みずほ まちなか会議

~住民と議員の意見交換会開催~

▶P19



特集

瑞穂第五小学校

瑞穂町
もり上げ隊の
皆さん



瑞穂第五小学校 瑞穂町もり上げ隊 の皆さん

瑞穂第五小学校の6年生が「瑞穂町もり上げ隊」を結成し、「第50回瑞穂町産業まつり」では、町内で高い技術を有する会社を取材して来場者に紹介し、精巧に金属加工された「みずほまる」のキーホルダーの販売をしました。また、駅西公有地を活用したにぎわい創出事業「OHAKO MARKET」では、自作のデザインがプリントされたサコッシュの販売をするなど、会場を盛り上げてくれました。今回、「瑞穂町もり上げ隊」で活躍した代表4人の小学生をご紹介します。

※児童の学年は、令和5年度時点です。



子どもたちがデザインした黒いサコッシュ

知れば知るほど、この町に住んでいくほど、この町が自慢になっていくきました。

Q もり上げ隊結成のきっかけは？

―授業で担任の先生から、「商品開発して町で販売するしたら」というテーマが与えられ、友達とアイデアを出し合っているうちに、だんだんとクラス全体で盛り上がっていった。「本当にやってみよう」ということになりました。

―とにかく瑞穂町の知名度を上げたい。

―私も同じ。小・中学生議会への参加を機会に町のことを調べたら、人口が減っていることを知りました。だから、瑞穂町のことを多くの人に知ってもらって住んでほしい。

―瑞穂町にはすごい技術を持っている会社があることを知ってほしかったから。

Q もり上げ隊で活動してよかったことは？

―商品を売った時にお客さんが喜んでくれました。

―社会勉強になりました。

―「OHAKO MARKET」に参加して販売目標を達成できました。

―町長さんが来てくれて、私たちの玉ちのすいところの説明を熱心に聞いてくれました。議員の方からインタビューを受けるぐらいに、

先生から「もっと大きな声で、一気にな」って言われました…。慣れるまで少し恥ずかしかったです。

Q もり上げ隊で活動して学んだことは？

―レジ打ち、呼び掛け、プレゼン、商品の補充や配置など、すべて一人ではできないので、一人一人が役割に責任をもって、みんなで協力することが大切だと知りました。

―町のことを勉強してたくさん知ることができました。そして、知れば知るほど、この町に住んでいることが自慢になっていきました。

―町の職員の方や校長先生が、もり上げ隊と町の会社をつないでくれました。何かを行う時には見えないところで支えてくれる人がいるのだと知りました。ご協力いただいた皆さまに心から感謝することができました。

Q 瑞穂町の良いところはどこですか？

―おいしい狭山茶や伝統的なだるまもあるし、観光スポットもあります。
―素晴らしい技術を持った工場があるところ。
―自然が豊かで…何ととっても町の人が温かいです。

Q 大人になった時に、瑞穂町がどんな町になってほしいですか？

―知名度アップで産業が活性化して、みんなが元気に暮らしている町。
―人と人のつながりが強く、お互いに助け合

って安心して暮らせる町。

Q これからどんな活動をしていきたいですか？

―もり上げ隊は5年生にバトンを渡します。私は新しく結成した「もり上げ隊」をサポートしていきたいです。

―他のイベントにも参加したいです。

―町を紹介するCMを製作したいです。

―ホームページやSNSをジャンジャン活用して瑞穂町のことを宣伝したいです。

―町や人の役に立つ仕事がしたいです。

Q 読者の皆さんにメッセージをお願いします

―もり上げ隊は5年生が引き継ぎます。引き続き応援してください。
―仕事の依頼、お願いします。

関根校長先生のコメント

子どもたちの主体的なパワーが多くの人を動かしました。学校の授業だけでは体験できない生きた学習ができたと思います。

担任の福田先生からのコメント

一人一人が役割をしっかりと考えて行動してくれました。クラスの団結力が素晴らしかったです。

ご協力ありがとうございました。
中学生になっても、町のためにがんばってほしい。



三津木 琴那 さん
町の人が温かいところが町の魅力
清水 美杜 さん
町のCMを作りたい
宇野 和重 さん
町長さんが来てくれてうれしかった
臼井 一生 さん
ほかのイベントにも参加したい

6年度予算を集中審査 質疑件数は^{延べ}302件



町執行部から6年度の予算案が本会議に提出されました。議会では委員長を香取 幸子議員、副委員長を下澤 章夫議員とする議長を除く14名で予算特別委員会を設置し、3日間にわたって集中審査を行いました。審査対象は、一般会計と9件の特別会計等で、延べ302件の質疑となりました。また、4日目には質疑を通じて特に重要な案件4件を抽出し、議員間討議を行いました。

第5次長期総合計画後期基本計画、立地適正化計画、地域公共交通計画の策定や多摩都市モノレール沿線のまちづくりなどに取り組むが、関連性があるため、今後の進捗状況や整合性に注視していきたい。また、多世代交流施設へと生まれ変わる寿楽に期待する。6年度予算は、厳しい財政状況の中、バランス、経費削減、補助金獲得など、努力の跡が見られ、評価できる。

反対討論は、ありませんでした。

賛成討論(要旨)

下澤 章夫 議員



pick up1

議案第16号 町立瑞穂第五小学校除湿温度保持機能復旧工事請負契約について

第五小学校 快適な学習環境に

第五小学校除湿温度保持機能復旧工事請負契約を可決

前回の復旧工事から20年が経過し、機器の老朽化により温度保持や除湿機能に低下がみられることから、復旧工事を行うための契約議案が町側から提出されました。なお、工事に伴い、集中方式から個別方式の空調に変更する設計案です。



契約方法 制限付一般競争入札
契約金額 1億3,838万円(落札比率81.65%)
契約相手 株式会社青和施設工業所(青梅市)
工期 令和6年11月29日まで

- Q 工期終了予定が11月とのことだが、夏休み明けからの暑さ対策はどうか。
- A スポットクーラーをレンタルして対応したい。
- Q 工事期間中の安全対策は。
- A 現場事務所を設置し、安全管理員を配置する。また、工事を夏休みに集中して行い、その後は主に土・日曜日の工事を予定している。

pick up2

議案第43号 令和6年度瑞穂町一般会計補正予算(第1号)

学校給食費無償化 4月から実施

負担金1億400万円を可決

- Q 学校給食費無償化に伴う負担金について、一人当たりの金額、町の予算は。
- A 一人当たり、小学校低学年は年間4万9,940円、中学年が5万1,810円、高学年が5万3,680円、中学生が6万1,270円。就学援助費を含めた予算総額は約1億1,800万円。本年4月からスタートする。
- Q 私立学校給食費等保護者負担軽減給付金の対象児童・生徒数と金額は。
- A 私立の小・中学校などに通っている児童・生徒55人分、約323万円。アレルギーなどで学校給食が食べられない児童37人、約215万円、区域外就学児童・生徒29人、166万円の給付を見込んでいる。



羽村・瑞穂地区学校給食センターHPより
6年4月15日の小学校給食

■賛否の分かれた陳情

○…賛成 ×…反対 ※議長は採決には加わりません。

陳情審査 件名	付託先	自民							公明		共産	笑顔	維新	立憲	結果
		森	榎本	古宮	下澤	香取	大和	高橋	小川	下野	原	大坪	井上	奥泉	
5陳情第18号 「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を働きかける意見書提出を求める請願署名」を政府に送付することを求める陳情書	厚生文教委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	○	不採択
5陳情第19号 健康保険証の存続を求める陳情	厚生文教委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	不採択
5陳情第24号 「ガソリン価格の高騰対策として、トリガー条項の発動とガソリン税・軽油取引税への消費税課税停止・見直しを求める意見書」を政府に送付することを求める陳情書	総務産業建設委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	不採択

自民：自民誠和会 公明：公明党 共産：日本共産党
笑顔：もっと瑞穂に笑顔 維新：日本維新の会 立憲：立憲民主党

※討論の様子は
HPでご覧になれます。



※全ての議案の詳細は
HPでご覧になれます。



私たちの税金、一般会計約158億円

無駄なく効率的に生かされるか

歳入・財政状況

- Q 6年度の財政状況は。**
A 経常収支比率は100.8を見込んでいる。6年度の収入だけでは経費が賅えない。
Q 都の「子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業補助金」の用途は。
A 駅西公有地活用プロジェクトが2,350万円を補助率は100%である。高齢者福祉センターの改修工事が約9,420万円を運営費が506万円である。

歳出

産業・観光

- Q 農業振興地域整備計画として、基礎調査業務を委託する計画だが目的は。**
A まちづくり基本構想において、モノレール延伸に伴い、No.6 駅周辺は産業近代化拠点の形成としている。このため、農業振興地域の除外に向けた計画変更が必須となる。6年度は武蔵地区の大幅な除外が見込まれるため調査を行い、都や国との調整を経て、計画を策定する。
Q 観光振興事業としてシティプロモーションの推進体制をどう構築していくのか。
A 人気のある「みずほまる」を通じて瑞穂町を知っていただく。また、町のプロモーション動画を作成してイベントやSNSで発信する。



事 討 議 対 象 とな っ た 施 策
項 議 (P8・P9 参 照)

教育

- Q 6年度の教育支援体制は。**
A 教育向上基金の終了に伴い、学習サポート制度を廃止する。これを補完するため、クラスサポートスタッフを各小学校に2名配置し、教育支援スタッフの人数や時間を拡充した。また、情緒障がいなどに対応した特別支援学級として第四小学校に3年生から6年生を対象に「ひかり学級」を設置する。
Q 6年度の不登校対策は。
A 各小・中学校では、不登校対応マニュアルを作成した。また、第二中学校では、6年度から空き教室を活用して心の居場所「つむぐ」を開設する予定。

生活・環境

- Q 箱根ヶ崎東西自由通路トイレ改修工事の内容は。**
A 1階にある男女の和式トイレ、合計6器を洋式に改修する。1か所当たり、およそ50万円の改修工事費と諸経費が掛かる。
Q 全町一斉清掃の参加人数が減少しているが対策は。
A 令和元年度までは、ゴーヤの苗を配布していた。6年度は繰り返し使えるエコバッグを参加者に配布予定。町内会でのPRおよび全町一斉清掃のPRチラシを全戸配布する。

交通

- Q コミュニティバス運行事業補助金が6年9月までとなっているが、年度途中で切り替わった場合の補助金の取扱いと今後のスケジュールは。**
A 都の補助金が9月で終了する。今後、地域公共交通会議を予定しており、そこで出た方向性に基づいて、10月を目途に速やかに次なるサービスに移行できるように検討を進めている。

まちづくり

- Q 箱根ヶ崎駅西公有地活用プロジェクト業務委託料で2,350万円を計上しているが、暫定インフラ整備の内容は。**
A 平屋の木製の小屋、約50㎡以上のウッドデッキ、ウッドベンチ、植栽を計画している。地域の方々の意見を最大限取り入れ、汎用性の高い施設整備を行う予定。
Q 多摩都市モノレール延伸を見据え、土地利用計画として立地適正化計画の策定開始から2年目を迎えるが現況は。
A この計画により、居住誘導区域、都市機能誘導区域の位置付けをするための素案を作成している。その中に課題を分析するためのレーダーチャートを掲載したページを設けている。

くらし・安全

- Q 国からの交付金を基金として始めた青パトによる防犯パトロールだが、基金原資は7年度で終了する。この状況の中で6年度はどのように取り組むのか。**
A 防犯パトロールのコースや時間を見直す。また、防犯灯のLED化や可動式の防犯カメラの設置、わんわんパトロール事業を開始する。全体的な防犯施策を検証して進めていく。
Q 災害対策費の備品購入費として避難所用ベッドとテントの購入があるが、その内容は。
A 折りたたみ式簡易型のベッドとテントそれぞれ50台、50基を購入し、指定緊急避難場所、指定避難所、元狭山防災広場に分散して保管する予定。



わんわんパトロール中の様子

福祉・健康

- Q 基幹相談支援センターが新たにスタートするが内容は。**
A 主に障がい者（児）やそのご家族の相談を受ける。これまで以上に広い範囲での相談が可能になる。場所はふれあいセンター内で主に社会福祉士や精神保健福祉士などを中心とした体制で、10月から開始する予定。
Q 6年度から学童保育クラブでは、夏休み期間中、午前8時から8時半まで朝の延長保育を開始するとしているが内容は。
A 朝延長は全学童保育クラブで実施し、延長料金が発生する。なお、春休みと冬休み期間中については、夏休みの状況を見てから研究していく。



二小学童保育クラブ

- Q 6年度に子ども家庭センターを設置するとしているが、どのように取り組むのか。**
A 子ども家庭センターは、子ども家庭支援センターとゆりかごステーションを一体化した機能となる。母子保健や児童福祉に精通した職員を統括支援員として配置する。
Q 高齢者福祉センターを多世代が交流できる施設に改修するに当たり、多世代交流プログラムを企画する計画になっているが内容は。
A eスポーツなども含め、高齢者も子どもたちも一緒に遊べるようなものを考えていきたい。

期待に応える予算か！

4つの議題を議員で討論！

分科会（厚生文教委員会所管分野）

討議事項

クラスサポートスタッフについて

下野 委員(座長)、香取 委員、森 委員、大坪 委員、大和 委員、高橋 委員、川島 委員

長期総合計画

基本目標2 子どもたちがのびのびと育つまち

施策分野5 確かな学力の育成と個性と創造力の伸長

分科会での主な意見

これまでの学習サポーターと比べて、クラスサポートスタッフの人数が半減される代わりに、教育支援スタッフを拡充することで、各学校の特色に合った支援をするという体制になる。今後の動向をしっかりと注視する必要がある。

支援の必要な子どもへの対応として、継続的に支援を行う上で配慮が必要であり、支援をする側の引き継ぎをしっかりと行わなければならない。



一小入学式

人材確保については、各課が連携して人材の掘り起こしに努めていただきたい。

大きく体制が変わるので、保護者への丁寧な説明が必要である。

スタッフに対して、その役割を果たせるように丁寧な説明と協力を求めることが大事である。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

討議事項

改修後の寿楽の運営について

長期総合計画

基本構想 重視すべき視点

視点3 つながる地域づくり

分科会での主な意見

通うための交通手段などについても、しっかりと考えていく必要がある。

誰もが居心地よくいられる「場」、交流ができる「場」という両面の機能を発揮できるような工夫が必要である。

今はまだ「寿楽」という名前が定着している。早い段階で名称について大きく募集をかけて変更してはどうか。



工事中の高齢者福祉センター寿楽

子どもから高齢者までの施設としてふさわしい運営ができる管理者の選定が大切になる。

学校に通えない子どもたちが行ける「場」になることも視野に入れてもらいたい。

小学生から高齢者、障がいの有無などに関わらず、広く住民の意見を反映させるためのワークショップなどを開催してはどうか。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

分科会（総務産業建設委員会所管分野）

討議事項

コミュニティバス運行事業の今後について

下澤 委員(座長)、原 委員、小川 委員、榎本 委員、古宮 委員、井上 委員、奥泉 委員

長期総合計画

基本目標6 便利で快適に暮らせるまち

施策分野2 公共交通

分科会での主な意見

10月以降の運行予算が示されていない。10月から本格実施が決まっている中で、何も予算が示されないのはいかがなものか。

町の担当職員が近隣をはじめ広く交通手段について調べたり、住民の声を聞こうと努力している姿勢は評価できる。

町民の意見、地域懇談会の意見を極力反映してほしい。



コミュニティバス

むさし野地区や元狭山地区の昼間の時間帯などに、デマンド交通は有効ではないか。

6月か9月に示されるであろう補正予算をしっかりと注視していかなければならない。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。

討議事項

立地適正化計画と地域公共交通計画

長期総合計画

基本目標6 便利で快適に暮らせるまち

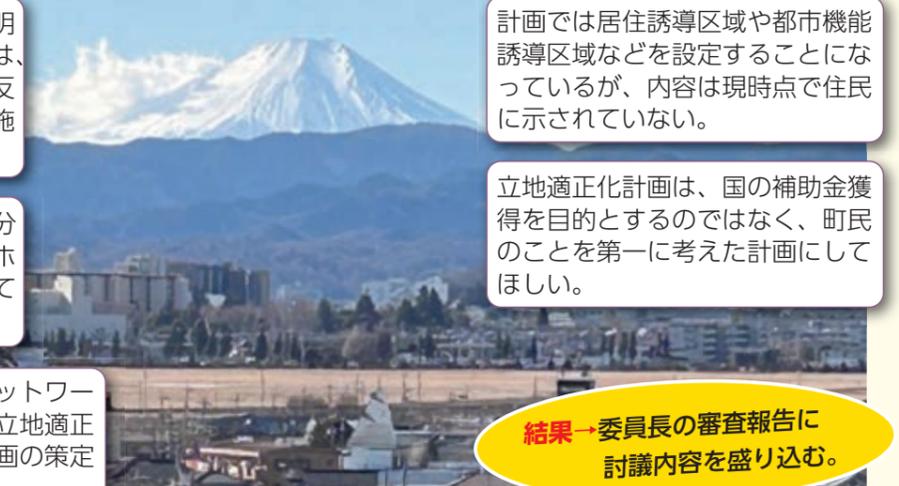
施策分野1 計画的なまちづくりの推進

分科会での主な意見

6年度に行われる住民説明会やパブリックコメントは、住民の声が計画に確実に反映されるよう、早めに実施してもらいたい。

町民に計画の進捗状況が分かるように、可能な限りホームページなどを活用して周知すべきである。

コンパクト・プラス・ネットワークの町を実現するには、立地適正化計画と地域公共交通計画の策定は車の両輪。



計画では居住誘導区域や都市機能誘導区域などを設定することになっているが、内容は現時点で住民に示されていない。

立地適正化計画は、国の補助金獲得を目的とするのではなく、町民のことを第一に考えた計画にしてほしい。

結果→委員長の審査報告に討議内容を盛り込む。



下澤 章夫 議員

期待度85%

立地適正化計画

立地適正化計画策定における第5次瑞穂町長期総合計画、都市計画マスタープランとの整合性を図ること。



森 亘 議員

期待度85%

地域人材の確保

少子高齢化が進む中で、安全安心、将来への期待感を醸成するためには福祉、教育に係る地域人材の確保とDX推進が鍵となる。

期待度70%

基幹相談支援センター、教育

障がい者に対応する基幹相談支援センターの開設を評価。教育分野では、人材活用において、現場の声をよく聞いた運営を期待したい。



川島 靖弘 議員



山崎 栄 議長

1年間の町事業を左右する予算。本委員会での質疑を踏まえた各議員の全予算への期待度と注目する事業をご紹介します。

期待度80%

ひかり学級

自閉症・情緒障がいの子どもたちへ、今年度に開設する小学校の特別支援学級「ひかり学級」に期待。



大坪 国広 議員

期待度90%

地域公共交通計画策定

多摩都市モノレール延伸や町の将来都市像を見据えて、地域旅客運送サービスの姿を明らかにする計画に期待したい。



小川 龍美 議員

期待度95%

子ども家庭センターの設置、子ども計画の策定

子どもたちの健やかな育ちに向けて「子ども家庭センター」の設置や「子ども計画」の策定などに期待。



下野 義子 議員

期待度80%

立地適正化計画

瑞穂の未来を左右する立地適正化計画が、モノレール沿線だけでなく道路事情を生かしたものに繋がるか懸念が残る。



榎本 義輝 議員

期待度80%

地域コミュニティ

ゼロ予算の「協働の窓口」事業などを活用し、コロナ禍で希薄化した地域コミュニティの再生・復活に期待大！



井上 一也 議員

期待度90%

空調機設置

避難所ともなる小・中学校体育館に空調機設置の設計費用が予算計上されたのは高評価(二中は次年度以降)。



原 隆夫 議員

期待度95%

交通施策

バランスよく配分された予算と評価する。9月に終了するコミバスの実証実験後の新たな交通施策に期待したい。



大和 雅彦 議員

期待度90%

デジタル化の推進

自治体情報システム標準化・共通化対応などデジタル化の推進、書かない窓口の本格導入に期待する。



古宮 郁夫 議員

期待度80%

教育環境の充実

学習サポーターからクラスサポートスタッフに変更になるが、教育環境の充実が図れるか注視していきたい。



高橋 洋子 議員

期待度80%

各種計画策定

計画策定に係る委託費用が大きい。将来の瑞穂町のまちづくりに向け、充実した委託の成果を期待する。



奥泉 淳広 議員

期待度85%

延長保育

夏休み期間の学童保育の朝延長保育の実施を評価。春休み、冬休みの実施については未定とのこと、その動向を注視したい。



香取 幸子 議員

令和6年度予算 全会一致で可決
議員はこころに注目した！



下澤 章夫 議員 (自民誠和会)

町の実施事業にPFSなどの導入を



町長 あらゆる効率的な手法を研究していく

質問 超少子高齢化などにより、行政運営の財源確保の困難が予想され、課題解決には、民間企業等の資金、運営能力・技術の導入が避けて通れない状況になると思われる。事業者に運営の裁量を委ね

て、モチベーションを高め、事業による成果に対して報酬を支払う成果連動型民間委託契約方式（PFSなど）を改修工事が開始された高齢者福祉施設の、多世代間交流を目的とする事業などへ導入していくべきと考えるが、所見を伺う。

町長 高齢者福祉センターの改修にはサウンディング型市場調査を初めて導入し、多世代



高齢者福祉施設周辺の畑で行われた、さつまいも収穫体験

町長 町は、給食費無償化に伴う必要経費のうち都補助金を差し引いた金額を町の一般財源の中から、恒久財源として捻出方法を検



給食センターでの調理風景

町長 令和6年度から無償化に取り組むことを決断

質問 令和5年第3回定例会において、瑞穂町議会は国に対し学校給食費無償化の迅速な実施を求め、意見書を議決した。昨年末、東京都は国に先んじて、区市町村が実施する給食費に対する保護者負担軽減に対し、その2分の1を支援することを公表した。瑞穂町の給食は一部事務組合で実施しているため、調整も難しいが、子育て世帯をサポートするために給食費無償化に取り組むのか、町長および教育長に伺う。

町長 町は、給食費無償化に伴う必要経費のうち都補助金を差し引いた金額を町の一般財源の中から、恒久財源として捻出方法を検

古宮 郁夫 議員 (自民誠和会)

学校給食費無償化

「子ども！」

学校給食費の無償化に取り組むことを決断した。公立学校、私立学校に通う子どもたちへの補助も考慮し、今議会最終日に補正予算として上程する予定である。



町長 オオムラサキに出会える確率は非常に低く、生息を全面的に周知すれば、観察目的で立ち入り禁止区域に



オオムラサキ

町長 オオムラサキの観察推奨は難しい

質問 狭山丘陵の西側に位置する我が町は、素晴らしい自然環境があり、季節ごとに美しい風景を見ることが出来る。この素晴らしい自然環境のエリア内には、絶滅が危惧されている希少な生き物たちが生息している。その中でも、特に美しい国蝶オオムラサキの生息が確認されている。町の豊かな自然をアピールするため、国蝶オオムラサキを前面に押し出した広報展開を行い、観光客を誘致することはどうか、所見を伺う。

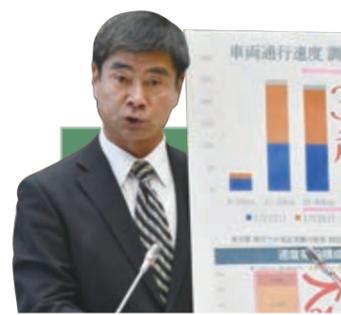
町長 基地周辺には飛行規制があり難しい。

町長 基地周辺には飛行規制があり難しい。

町長 基地周辺には飛行規制があり難しい。

井上一也 議員 (もつと瑞穂に笑顔)

六道山周辺に息づく国蝶オオムラサキで、町の観光アピールを



大和 雅彦 議員 (自民誠和会)

通学路、歩行者の安全確保に向けた今後の取り組みを問う



教育長 地域の協力を得るべく



出典：国土交通省ウェブサイト 歩行者の命を守る緊急戦略 (https://www.mlit.go.jp/road/traffic/sesaku/pdf/leaflet_2-2-1.pdf)

町長 今後、スピード抑制の方法、何が一番最善なのか、ハンプについても研究していきたい。

町長 今後、スピード抑制の方法、何が一番最善なのか、ハンプについても研究していきたい。

町長 今後、スピード抑制の方法、何が一番最善なのか、ハンプについても研究していきたい。

質問 令和3年6月に千葉県八街市で、小学生5名が死傷する交通事故が発生したことを受け、文部科学省、国土交通省および警察庁が連携して、全国の小学校の通学路について

合同点検が実施された。い。教育委員会と学校の朝の登校時においては、では、子どもたちの安全な通学路の確保について地域の協力を得るべく引き続き努力していく。

質問 車の走行速度を減速させるために有効な対策であるハンプの設置はできないか。

町長 今後、スピード抑制の方法、何が一番最善なのか、ハンプについても研究していきたい。

原 隆夫 議員 (公明党)

耐震シエルターなどの 助成制度の見直しを



町長 助成制度の周知を 行わなければならない

質問 元日に発生したマグニチュード7・6の能登半島地震では甚大な被害が発生している。亡くなられた方の多くは、建物の倒壊による圧死だといわれている。町は耐震改修への助成制度を設けているが、ほとんど利用されていない。簡易耐震改修の耐震シエルターは住宅が倒壊しても居間や睡眠スペースを守ってくれる装置で安価なものも開発されている。大地震から命を守るため、助成制度を利用しやすいよう見直すべきと考えるが。

町長 平成25年から開始された助成制度は、簡易耐震改修費も加えた画期的なもので、助成上限も高く設定されている。また、簡易耐震改修には生存空間を確保するため、耐震シエルター、防災ベッドも含まれている。自らを守る継続的な防災意識の向上、助成制度の周知、対象住宅の建て替え状況の把握など、町が行わなければならない努力は必要である。今後も地域防災計画および耐震改修促進計画に基づく防災全般に取り組みとともに、国や都に対し現況を伝え、補助の強化を求めている。



防災ベッド

質問 国土交通省では第3ステージとして、地方創生・観光を加速する拠点へ進化するため、道の駅を核にした地方創生および道の駅の持続可能な安定運営を目指した取り組みを推進し、ニューノーマル対応・防災機能強化・地域センター化をテーマに国からの支援の充実などを掲げている。我が町は新青梅街道と国道16号が交差し、圏央道のインターも近く、その立地を生かした町づくりが重要で用途地域の見直しも必要と考えるが、所見を伺う。

町長 「防災道の駅」の国の選定条件には、広域的な防災拠点としての役割を果たす施設で、2500㎡以上の駐車場を備えることなどいくつかの要件がある。道の駅を建設すれば、事業者の新たな販路拡大につながることも考えられなくはないが、経営が成り立たない可能性も元も用途地域に立地適正化

町長 接種費用が1回7千円程度と試算されている。負担額など近隣自治体と情報交換を進め、秋からの接種開始に備えていく。

町長 接種費用が1回7千円程度と試算されている。負担額など近隣自治体と情報交換を進め、秋からの接種開始に備えていく。

こんな質問もありました 新型コロナワクチン 接種の今後の見直しは

町長 接種費用が1回7千円程度と試算されている。負担額など近隣自治体と情報交換を進め、秋からの接種開始に備えていく。

榎本 義輝 議員 (自民誠和会)

防災道の駅の建設と 用途地域の見直しを

町長 防災道の駅にはいくつかの要件がある

町長 「防災道の駅」の国の選定条件には、広域的な防災拠点としての役割を果たす施設で、2500㎡以上の駐車場を備えることなどいくつかの要件がある。道の駅を建設すれば、事業者の新たな販路拡大につながることも考えられなくはないが、経営が成り立たない可能性も元も用途地域に立地適正化



関東・甲信地方の防災道の駅
出典：国土交通省ウェブサイト
(<https://www.mlit.go.jp/report/predd/content/001408488.pdf>)

小川 龍美 議員 (公明党)

自主防災組織の機能強化と 防災士の育成を



町長 機能的な自主防災組織の 在り方について考えてみたい

質問 自主防災組織は、災害発生時に地域住民の命を守るために重要な役割を担う。また、平時にも防災訓練の実施や防災資機材の備蓄や整理・点検など大事な活動を行う。災害発生に備え、現状の課題を洗い出し、機能強化をすべきと考える。また、近年、地域防災力強化に貢献すると期待されているのが防災士である。資格取得には多額の費用が掛かる。町民に資格取得を奨励し、助成金を交付するなど、町が育成を支援すべきと考える。

町長 災害時は初期消火や救出・救助など地域での自主活動が重要である。現在、自主防災組織の方には、毎年

町長 自主防災組織は、町職員を対象に行われる避難所開設訓練などに参加していただいている。町は機能的な自主防災組織の在り方について、危機管理官の経験などをもとに、自主防災組織の方とも考えてみたい。防災士については、地域に資格者がいればよいと思うが、公費によって取得した資格が地域で生かされるものでなければならぬと考える。



下野 義子 議員 (公明党)

町の「こどもまんなか社会」を 目指した取り組みを問う



町長 「瑞穂町子ども計画」を策定する予定



瑞穂町子どもフェスティバルの様子

質問 令和5年4月1日こども基本法が施行され、12月22日にこども大綱が策定された。国はすべての子ども・若者が身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができ「こどもまんなか社会」を目指し、大綱で6つの基本方針を示し、自治体での施策推進体制の構築、町の子どもの計画の策定、ライフステージに着目した施策の推進や支援、子ども・若者の社会参画・意見反映などを促している。町のこどもまんなか社会への取り組みは。

町長 町では、子育て応援課と健康課を中心に、さまざまな子育て支援を切れ目なく実施している。国の動向と

時代の变化に対応できるように、児童福祉と母子保健の両機能を一体化して相談支援を行う「子ども家庭センター」を設置する。また、6年度内に「瑞穂町子ども計画」を策定する予定である。子ども・若者、子育て当事者や子ども・子育て会議の中で意見を聞きながら進めていく。今後も適時適切に、町の実情に即した子ども・子育て支援施策を展開していく。

町長 災害時は初期消火や救出・救助など地域での自主活動が重要である。現在、自主防災組織の方には、毎年



石畑地区で行われた合同防災訓練の様子

補聴器購入助成制度の創設について再度問う



町長 現時点での導入は、時期尚早

質問 加齢性難聴は、家族や社会から孤立しやすく、引きこもりや認知症になるリスクが高まる。そこで次の3点について、所見を伺う。

町長 高齢者の難聴と補聴器使用の重要性についての認識は、適切な対応をとるため、都の新規の個別事業である「高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業」を活用し、補聴器購入助成制度の創設をすべきと考えるが、現時点での導入は、時期尚早と考える。



町長 都の補助制度は一部助成で、それを超えた金額は、市町村の負担となる。購入しても継続的に活用されない例もあることから、購入後の活用について検証を進めていく。

町長 補聴器などを使用することは、生活機能の向上や孤立の防止につながると認識している。

問② 早期発見のため、専門家による相談窓口を設置すべきでは。

町長 2カ所の高齢者支援センターにおいて、丁寧に受診を勧めている。現時点で専門的な相談窓口の設置は考えていない。

問③ 診断後、早期に



森 巨 議員 (自民誠和会)

厳しい財政状況で優先すべき事業は何か



町長 優先順位は長期総合計画見直しの策定過程で

質問 これまで交付された再編交付金約11億円を活用し、安全・安心まちづくり、健康づくり、教育向上などを目的に基金化して事業を進めてきたが、現時点で原資がほぼ枯渇している。また、コロナ

禍の影響により財政調正基金を取り崩してきた。他にも、公共施設の老朽化に対する財政出動は必須となる。一方でモノレール延伸に向けた整備事業、DX推進に向けた投資的事業も必要である。厳しい財政状況の中で優先すべき事業は何かを問う。

町長 行政の必要経費の効率化、廃止、統合など徹底した歳出削減が必要となる。それらを実施しても、未来の



多摩都市モノレールの延伸に伴い変更する幹線街路周辺の様子

川島 靖弘 議員 (立憲民主党)

ヒトパピローマウイルス (HPV) 予防接種について



町長 個別通知を行い、接種を勧めている

質問 平成25年に勧奨が中断されたHPV予防接種が、令和4年度から勧奨が再開された。また、勧奨が中断されていた間の対象者へのキャッチアップ接種が令和6年度で終了予定となっている。HPV

予防接種についての今後の町の取り組みを伺う。

町長 町では、小学6年生女子に個別通知を行い、接種を勧めている。6年度までの期限的措置として、定期接種の機会を逃した方対象の接種も行っている。また、4年3月までに自費で接種を受けた人には、その費用を給付する措置を加え、負担の公平化も図っている。男性向け接種は6年度中の実施を視野に、他自治体の動向に注視し、



実施の可能性を含め調査を進める。

町長 民間事業者の協力も仰いでいる。

こんな質問もありました
給食費未収の場合の対応は

教育長 食材に影響を与えないように、過年度分については、各家庭を訪問し、集金や分割払いなどの交渉を行っている。

空家対策にマッチングを

高橋 洋子 議員 (自民誠和会)

教員の働き方改革と学力向上の今後の取り組みについて



教育長 小学校高学年への教科担任制の導入を進める



質問 令和2年に策定された第2次瑞穂町教育基本計画では、前期5年で取り組むべき施策として「働き方改革の推進」や「確かな学力を育む教育」を掲げている。教育委員会で教員の負担軽減と学力向上の双方をどのように推進してきたか、現状と今後の取り組みについて、次の3点を伺う。

問① 教員の負担軽減の取り組みは。

教育長 校務支援システムを導入し、事務連絡の効率化などを図ってきた。今後、さらに改善を重ねていく。

問② 学力向上についての取り組みは。

教育長 タブレットを活用し、効果的な授業

問③ 学習へのサポート体制は。

教育長 支援スタッフとの連携によって児童・生徒の個別の支援を充実させていく。



タブレットを使用した一小の授業風景

みずほ まちなか会議を開催しました!

町民の皆さまから活発な意見!

1月20日(土)に長岡コミュニティセンターで「みずほ まちなか会議」を開催しました。テーマは、総務産業建設分野が「地域コミュニティを考える～災害時など、求められるその役割は～」、厚生文教分野が「多世代間交流について～世代を超えて楽しめる場を考えよう～」です。10代から70代、合わせて20名の方が参加して二班に分かれ話し合いました。主な意見をご紹介します。

総務産業建設分野 午前 10時から

【地域コミュニティを考える～災害時など、求められるその役割は～】

楽しいイベントや行事など、役員の皆さまが工夫しているけど、町内会の加入率が減少している。

町内会だけではなく、他団体とのつながりも大切だと思う。

顔が分かるって、いざという時にはすごく役立つと思う。普段からコミュニケーションをとることが大切だと思う。



若い人たちが興味を持ってくれるためには…SNSとかを活用して町内会が何をしているかを発信してほしい。

コーディネーターを行政が担ってくれるといいかも。

町内会もデジタル化して役員の負担を減らせないかな。

厚生文教分野 午後 1時30分から

【多世代間交流について～世代を超えて楽しめる場を考えよう～】

どの世代でも楽しめる体験型のイベントがあるといいかも。

みんなで作った野菜で季節の料理作りなんか楽しそう。うどんやそばもありかな。

楽しいイベントはSNSなどを活用して、どんどん発信していくと多世代の輪が広がっていくと思う。



eスポーツとかボッチャやモルックなど面白いと思う。

老人会と子ども会とか、町で活動しているいろいろな団体とコラボしてみるといいかもね。

ここに来ればいつでも何か楽しめるってみんなが思える場所をみんなで作ってきたいですね。

活発なご意見ありがとうございました。皆さまからの意見を参考に、さらに所管の委員会で議論を深めてまいります。

奥泉 淳広 議員 (日本維新の会)

小型車サイズの町役場 駐車場の区画拡張を

町長 来庁者、混雑状況を参考に 幅員を決定した

質問 町役場の駐車スペースは狭く、小型車規格となつている。普通車やミニバンが並んで駐車すると乗降が難しい。乳幼児、高齢者の乗り降りは、手荷物の出し入れは実に困難である。「国土交通省駐車場設計・施工指針について」に照らすと羽村市は小型車プラスアルファ、福生市は普通車の幅を確保しているが、新しく建設された瑞穂町役場は設計対象車両「小型車」の原則幅員2.3m以上の「最低限」の幅員しかない。改善を望むが、所見を伺う。



役場駐車場

西多摩地域の中心でも軽自動車の保有台数は、町が最も高い状況と考えあわせなければならぬ。区画線の見直しは、来庁の際および役所内に移動する際、人の動線上危険になる場合もある。今後、できる限り各種申請を役場に来なくても済ませることができるよう

「みずほまる」を活用したお土産の企画開発を

町長 キャラクター使用申請は1月末で91件あり、各種団体で商品が制作、販売されている状況である。



要望活動

東京都とJRへ要望書を提出 交通対策特別委員会

12月12日、交通対策特別委員会では多摩都市モノレール、JR八高線に関する要望内容について協議しました。その後、町と町議会合同で要望活動を行いました。

【都知事への主な要望内容(1月22日提出)】

多摩都市モノレールについて

箱根ヶ崎方面延伸の早期実現



東京都への要望活動の様子

【JR東日本八王子支社長などへの主な要望内容(2月2日提出)】

JR八高線について

- ①朝夕のラッシュ時および24時台において、より一層の利便性向上
- ②東京方面直通電車の再開
- ③拝島駅での乗り継ぎ時間の見直し
- ④駅員の無人時間帯の見直し
- ⑤新駅の設置(2か所)
- ⑥複線化計画の早期実現
- ⑦地方交通線から幹線への昇格(運賃格差の是正)
- ⑧ホームドアまたは可動式ホーム柵を整備



左から 栗原副町長、森副議長、香取委員長、宇野八王子支社企画部長

初心者大歓迎、スポーツは楽しいよ

峯岸 利治さん(73歳)

「町で開催するポッチャ大会に出場してくれない？」ソフトボール連盟会長の峯岸さんが相談されたのが5年前。同連盟の役員を誘い、和気あいの仲間で参加して優勝し、都の市町村大会にも出場。投げるボールの反発力や狙う場所など、戦略が大切だと知ったそうです。「ポッチャは老若男女、障がいの有無に関わらず、みんなが楽しめる競技。広がるといいね」と笑顔の峯岸さん。

週3日のソフトボールの練習は欠かさず、ポッチャも楽しんでます。「ソフトボール初心者大歓迎、スポーツは何でも楽しいよ」と話す峯岸さん。笑顔もプレーも輝いています。



次回 6月定例会 (予定)

6月3日~14日

日	月	火	水	木	金	土
19 5月	20 請願、陳情の 受付締め切り日	21	22	23 議会運営委員会	24	25
26	27	28	29	30	31	1 6月
2	3 本会議 (一般質問)	4 本会議 (一般質問・議案審議)	5 本会議 (一般質問・議案審議)	6	7 総務産業建設委員会 広報広聴委員会	8
9	10 厚生文教委員会	11	12 議会運営委員会	13	14 本会議 (議案審議)	15

■本会議、委員会の開始時刻は午前9時30分からです。なお、広報広聴委員会の開始時刻は午後1時30分からになります。上記の日程は予定ですので、進捗状況によって、本会議が休会になる場合もございます。傍聴に来られる際は、お電話または、ホームページで日程をご確認のうえご来庁ください。

お問い合わせ 議会事務局 ☎557-7693 (直通)

編集後記

青葉若葉の美しい、初夏を感じる季節がやってきました。爽やかな風の中に歴史を思い描く。そんな時間を過ごせるかもしれませんね。

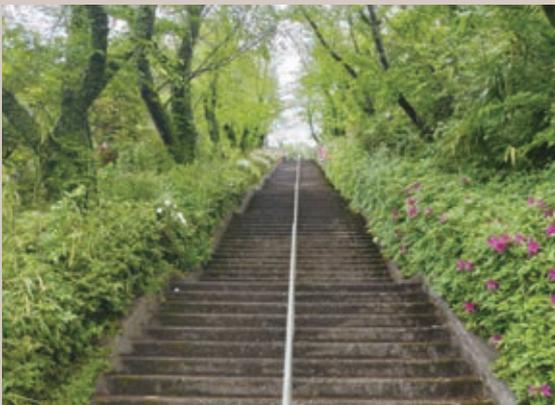
今定例会は当初予算などを審議する重要な議会であり、子どもに関する施策などについて活発な議論が行われました。その内容が皆さまに少しでも伝わるような編集を心掛けました。

今後も分かりやすい紙面づくりを目指します。

文：香取 幸子

広報広聴委員会 広報部会員

小川 龍美 大坪 国広
原 隆夫 香取 幸子
大和 雅彦 高橋 洋子
川島 靖弘



殉国慰霊塔へと続く階段



瑞穂町議会

検索

●インターネットで議会録画中継をご覧になれます。

〒190-1292 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2335
TEL/042-557-7693 (直通) FAX/042-557-4433
✉ gikai@town.mizuho.tokyo.jp